

日本は自動販売機大国

外人、日本旅行の楽しみの一つが自販機

日本人が極当たり前と思ってる物が海外から見ると、とてつもなく素晴らしく見えるようです。
日本の自動販売機はまさにその代表例のようです。
日本では街のそこらじゅうに設置してある自動販売機。なんで日本にはこんなに自販機が多いのだろう？と疑問に思ったことはありませんか？

世界の自動販売機数を見てみると、絶対数ではアメリカ合衆国が一番多いですが、人口や国土面積を勘案した普及率では、**日本が世界一**です。

それでは、日本が世界で自販機普及率ナンバーワンになった理由とは一体何なのでしょう。そして反対に、なぜ海外では自販機が増えないのでしょうか。

自動販売機は「日本」を集約したような機械です。

治安が安定していないと自販機を外にはおけません。
また日本の夏の暑い時期は湿気があり高温になるため水をはじめとする飲料水需要が高くなります、反対に寒い冬には体を温めてくれるホットコーヒーや暖かいお茶の需要が高まります。

24時間動いている自販機は生活者の身近にあり、大変便利なのです。自販機は利便性の高い社会施設として認知されています。

自販機には日本の最新技術が盛り込まれています。
ひとつの自販機で冷たい飲み物と暖かい飲み物を選べる。
自販機の中の暖かい飲み物の温度は55度、冷たい飲み物の温度は5度に管理され、アイスクリームの場合はマイナス20度に保たれています。

自販機の種類が豊富。飲料自販機が自販機全体の約50%。

日本の自動販売機には携帯電話で支払えるものもある。それらにはビデオスクリーンが付いていて、広告を流したり、携帯での支払方法を教えていたりしている。



日本の自販機の特徴

- 1、見た目……清潔で、購買意欲を盛り立てる
- 2、機能……冷たいのも物も暖かい飲み物も選べる。
- 3、種類が豊富…飲料水(冷たい・暖かい)
アイスクリーム
パン・スナック類
ハンバーガー
おでん
野菜
おそば・うどん(40年前からある)
タバコ
切手